



(公社)神奈川労務安全衛生協会
小田原支部
小田原市本町2-3-24
TEL 0465-24-1753
発行責任者 支部長 小池清彦
編集 広報部会



小田原城址公園内

株式会社ミクニ 小野間 博氏 撮影

第97回 全国安全週間スローガン

『危険に気付くあなたの目』

そして摘み取る危険の芽

みんなで築く職場の安全』

令和 6 年度

全国安全週間を迎えて

小田原労働基準監督署 署長 **本間 公紀**



小田原労働基準監督署管内の休業4日以上の労働災害は増加傾向にあり、死亡災害は残念ながら令和5年に7件発生してしまいました。

近年は、高齢労働者の労働災害や転倒や腰痛などの労働者の作業行動に起因する死傷災害が多くを占め、死亡災害は墜落・転落などによるものが依然として後を絶ちません。

このような状況の下、労働者が安全で安心して働くことができる職場環境を築くためには、昨年度からスタートした「第14次労働災害防止計画」に基づき、労使双方が労働災害防止のための基本ルール

を徹底し、労使一丸となった取り組みが求められるところです。

このような背景等を踏まえ、本年度は、

「危険に気付くあなたの目

そして摘み取る危険の芽

みんなで築く職場の安全」

をスローガンに全国安全週間が展開されます。

皆様方におかれましては、この安全週間を契機として労働災害防止の重要性について認識をさらに深めていただき、引き続き職場における自主的安全管理活動の定着が図られますようお願いいたします。

■■■ 第97回全国安全週間 ■■■

小田原地区推進大会に参加して

令和6年度全国安全週間小田原地区推進大会が、6月7日(金)にリアル及びリアルタイム配信により開催され参加しました。

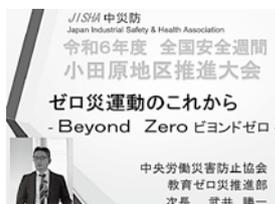


冒頭、小田原労働基準監督署の本間署長より「全国安全週間は、昭和3年に初めて実施されて以来、一度も中断することなく続けられ今年で97回目を迎えていること、その間、長期的には労働災害は減少傾向にあります。最近では死傷災害が増加傾向にあり第14次労働災害防止計画では労使双方で基本ルールを徹底する取り組みが必要という趣旨説明がありました。引き続いて、磯崎安全衛生課長より令和6年度安全週間の実施事項の詳細説明があり、取り組みの必要性を共有する場となりました。

続いて、神奈川労務安全衛生協会小田原支部安全部会の須田様より第14次労働災害防止計画で重点課題となっている「転倒災害防止」について、支部独自に2020年度から実施している災害アンケートの結果報告がありました。安全部会では、「対策実践無いところに成果は生まれない」という信念の

もと、対策を「環境の安全力アップ」と「個人の安全力アップ」に分類し、これらの実践をアウトプット指標として引き続き活動を継続するとの報告がありました。

特別講演では「ゼロ災運動のこれから～Beyond Zero～」と題し、中央労働災害防止協会 教育ゼロ災推進部の武井勝一様よりお話を頂きました。中災防が提唱した「ゼロ災運動」は昨年50周年を迎え、今年、中災防設立60周年ということで「次なるゼロ災運動」にむけて、「働きがい」「健康づくり」は、職業生活を続けるために必要なものであり、「ゼロ災」「ゼロ疾病」を目指し、「ゼロを超えてい



く」ということで「ビヨンド・ゼロ」という非常にわかりやすく、これからやるべきことが実感できたご講演でした。

今回の推進大会に参加し、いかにスローガンである「危険に気付くあなたの目 そして摘み取る危険の芽 みんなで築く職場の安全」が重要であることを再認識いたしました。スローガンを目標に今後も安全衛生活動を実施していきたいと思っております。

(わかもと製薬株式会社 金子勝彦)

小田原労働基準監督署からのお知らせ

みんなで防ごう 熱中症！

いつでも、どこでも、だれでも、条件次第でかかるのが熱中症です。

特に労働しているときなどは発症しやすく、症状が深刻なときは命の危険にさらされることもあります。正しい知識と適切な予防法があれば、未然に防ぐこともできるので、熱中症にかかる前からきちんと対策をして、暑い夏を乗り切りましょう。

- 熱中症予防 その1 水分・塩分は こまめに補給！
- 熱中症予防 その2 涼しいところで 休憩！
- 熱中症予防 その3 「おかしいな？」と思ったら すぐ報告！

熱中症が発生！ その時どうする？



労働災害発生状況

令和5年発生の労働災害統計は令和6年5月27日付けで厚生労働省の報道発表により確定しました。

これは、令和5年1月1日から令和5年12月31日までに発生した休業4日以上労働災害に基づき提出された労働者死傷病報告（様式第23号）の受理件数について、統計を作成するに当たっての締切日を設け、統計数値として確定を行ったものです。

当署管内における令和5年の新型コロナウイルス感染症のり患によるものを除いた労働災害による死傷者数は384人と前年（378人）に対して6人（+1.6%）の増加となり、残念なことに死亡者数は7人となっています。

死亡災害はもとより、労働災害はあってはならないものであり、各事業場におかれましては、より一層の労働災害防止への取り組みをお願いします。

令和5年 業種別労働災害発生状況

小田原 労働基準監督署
(確定版)

業 種	当 年 (令和5年)	前 年 (令和4年)	増減数	増減率
01 食料品製造	13	16	-3	-18.8%
02 繊維工業				-
03 衣服その他の繊維				-
04 木材・木製品	4	3	1	33.3%
05 家具・装備品	1	1		
06 パルプ等		3	-3	-100.0%
07 印刷・製本	1		1	
08 化学工業	15	13	2	15.4%
09 窯業土石	4	6	-2	-33.3%
10 鉄鋼業				-
11 非鉄金属	1	1		
12 金属製品	4	4		
13 一般機械器具	2		2	
14 電気機械器具				-
15 輸送機械製造	3	2	1	50.0%
16 電気・ガス				-
17 その他の製造	3	7	-4	-57.1%
01 製造業小計	51	56	-5	-8.9%
02 鉱業小計	2	3	-1	-33.3%
01 土木工事	16	19	-3	-15.8%
01 鉄骨・鉄筋家屋		6	-6	-100.0%
02 木造家屋建築	8	12	-4	-33.3%
03 建築設備工事	4	3	1	33.3%
09 その他の建築工事	8 (3)	8		
02 建築工事	20 (3)	29	-9 (3)	-31.0%
03 その他の建設	6	2	4	200.0%
03 建設業小計	42 (3)	50	-8 (3)	-16.0%
01 鉄道等	1	3	-2	-66.7%
02 道路旅客	6	6		
03 道路貨物運送	23 (3)	31	-8 (3)	-25.8%
04 その他の運輸交通				-
04 運輸交通業小計	30 (3)	40	-10 (3)	-25.0%
01 陸上貨物	19	38	-19	-50.0%
02 港湾運送業				-
05 貨物取扱小計	19	38	-19	-50.0%
01 農業	8 (1)	4	4 (1)	100.0%
02 林業	7	3	4	133.3%
06 農林業小計	15 (1)	7	8 (1)	114.3%
01 畜産業		1	-1	-100.0%
02 水産業				-
07 畜産・水産業小計		1	-1	-100.0%
01 卸売業	4	4		
02 小売業	49	56	-7	-12.5%
03 理美容業	1	1		
04 その他の商業	1	3	-2	-66.7%
08 商業	55	64	-9	-14.1%
01 金融業	3		3	
02 広告・あっせん				-
09 金融広告業	3		3	
10 映画・演劇業				-
11 通信業	9	9		
12 教育研究	2	1	1	100.0%
01 医療保健業	78	174	-96	-55.2%
02 社会福祉施設	70	127	-57	-44.9%
03 その他の保健衛生				-
13 保健衛生業	148	301	-153	-50.8%
01 旅館業	24	26	-2	-7.7%
02 飲食店	19	10	9	90.0%
03 その他の接客	11	14	-3	-21.4%
14 接客娯楽	54	50	4	8.0%
15 娯楽・と畜	36	23	13	56.5%
16 官公界		2	-2	-100.0%
01 派遣業				-
02 その他の事業	15	16	-1	-6.3%
17 その他の事業	15	16	-1	-6.3%
合 計	481 (7)	661	-180 (7)	-27.2%
合 計 (コロナ除く)	384 (7)	378	6 (7)	1.6%

※ 各欄左側の数字は労働者死傷病報告（休業4日以上）の受理件数、右側（ ）内は死亡災害件数（内数）

新たに着任した職員からの挨拶

安全衛生課長 磯崎 有貴

この度、小田原労働基準監督署の安全衛生課長に着任いたしました磯崎でございます。地元であるこの地域で働くことができ、大変光栄に思っております。

私の出身地であり、親しみ深いこの地域において、労働者の皆様の安全と健康を守るための活動に尽力できることを非常に嬉しく感じており、これまでの経験を活かし、災害防止の推進に一層取り組んでまいります。

皆様のご協力とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

どうぞよろしくごお願い申し上げます。

部会紹介シリーズ 第2弾

わが社の広報活動 担当：広報部会

今年度も部会紹介シリーズ第2弾として、小田原支部の役員企業が行っている活動を各部会にまつわるテーマでご紹介していきます。

初めに広報部会からは、部員会社の「広報活動および情報共有方法」をご紹介します。

各社の取り組みを参考に、新しい発見に繋げていただけると幸いです。

ITを活用した情報共有



毎月、給与明細と安全衛生資料を配信しており、従業員はスマホでいつでも確認することができます。内容は、前月発生事故や対策・発生した事故予防ルール・法改正に伴う社内実施事項や社内提案者名一覧等で、社内情報共有に努めております。

㈱東海ビルメンテナンス 高木



社内イントラネットを通じて、産業保健スタッフより「保健師が気になる記事」として、日々の健康に役立つ情報や健康診断情報その他健康管理に関するお知らせ記事などを毎月定期的に社員へ発信しています。

第一三共ケミカルファーマ㈱ 大石



日本新薬では、工場のPC・携帯でいつでもどこでも閲覧できる掲示板を活用して、労安協の講習会の開催情報など安全衛生関連の情報をタイムリーに従業員へ周知しております。ヒヤリハット報告は、アンケート機能を活用し、PCで簡単に提出できるようにしております。

日本新薬㈱ 堂前



ミクニでは、社内イントラネット健康に関する限定動画を従業員に公開しています。

QRコードでスマホや自宅でも閲覧できるようにし、家族含めて健康に関する意識の向上とその対策に取り組めるよう啓蒙しています。

㈱ミクニ 尾藤

社内広報誌を活用した情報共有



小田原ガスでは半期に一度『おだわら花壇』というブランディング誌を発行しています。地域エネルギー企業として、最新ガス機器紹介、リフォーム事例紹介、ガス展などのイベント紹介、県西地区のお店紹介をしています。

小田原ガス㈱ 細谷



協会誌「かながわ」、「おだわら」、安全衛生委員会の議事録は従業員へメールしております。別途、所内本棚2か所へ冊子にて置いてあります。この本棚には、グループ会社内報、山北町広報、健康保険ニュース等も置き、従業員への情報共有を行っています。

㈱カネカメディックス 宇田川

安全衛生活動の情報共有



安全パトロールの実施結果を踏まえ各職場の管理者を対象とした研修会を実施しています。本年4月に会社組織の再編を行いました。安全衛生活動を全社一体となって取り組むための施策として、継続して実施していきます。

㈱小田急箱根 米山



工場の正門を入ってすぐのところに掲示板による安全成績環境安全発行の情報紙、安全イベントの紹介などの広報活動を行うとともに、従業員からの公募で選出された安全標語の最優秀作品を、垂れ幕にして掲示しています。

三菱ケミカルハイテクニカ㈱ 村山

令和 6 年度

小田原地区安全功労者表彰

■表彰者の選考について

この功労者表彰賞は、3年以上無災害の事業場を要件として会員事業場より推薦募集し、審議・決定されるものです。
 今回の2社は、以下の実績/取り組みも評価されました。

①小田原ガス株式会社
 テールゲートリフター特別教育の実技講習会場提供など講習会運営に貢献。

②日本防蝕工業株式会社
 令和5年 連続無災害記録 第5種を達成。



瀬戸 正隆様
小田原ガス(株)



藤原 浩様
日本防蝕工業(株)

事務局だより

事務局長 鎌田 光郎

労働行政の重点課題に、「リ・スキリングの推進と人材確保の支援」が掲げられています。人口減少・高齢化が進む中、各人の能力向上が求められています。各種スキルアップに向けた学びの場を設定していますので、是非ご活用ください。

< 7 月 ~ 9 月開催講習会 >

- | | |
|---|--|
| * 新 KYT 基礎実践研修会
・ 7 月 4 日 (木) 青色会館 | * 危険体感講習会
・ 8 月 29 日 (木) 富士フィルム研修センター |
| * 粉じん作業特別教育
・ 7 月 9 日 (火) 青色会館 | * 保護具着用管理責任者選任研修
・ 9 月 4 日 (水) 青色会館 |
| * 玉掛の業務に係る特別教育
・ 7 月 23 日 (火) 青色会館 | * 届出手続きオンデマンドセミナー
・ 9 月 6 日 (金) オンデマンド配信 |
| * テールゲートリフターの操作の業務に係る特別教育
・ 7 月 25 日 (木) 小田原ガス | * 全国労働衛生週間小田原地区推進大会
・ 9 月 6 日 (金) 青色会館 |
| * リスクアセスメント研修会
～自律的な化学物質管理の導入に向け～
・ 7 月 30 日 (火) 青色会館 | * 安全衛生推進者養成講習会
・ 9 月 10 日 (火)、11 日 (水) 青色会館 |
| * 研削といし特別教育
・ 8 月 1 日 (木) 青色会館 | * 職長能力向上教育
・ 9 月 17 日 (火) 青色会館 |
| * 職長教育
・ 8 月 6 日 (火)、7 日 (水) 青色会館 | * 普通救命救急 I
・ 9 月 19 日 (木) 青色会館 |
| * 化学物質管理責任者(取り扱い事業場対象)
・ 8 月 20 日 (火) 青色会館 | * 交通 KYT 研修
・ 9 月 24 日 (火) 青色会館 |
| * フルハーネス型墜落制止用器具特別教育
・ 8 月 22 日 (木) 青色会館 | |

散 歩 道

私の散歩道の執筆は、今回で4度目になります。毎回単身赴任何年目と記載しており、現在は6年目に突入しています。京都から小田原に異動した時は、保育園の年長だった長女が12歳になり、長女とは生まれてちょうど半分別居生活となりました。5年前の保育園の卒園式は、赤ん坊だった娘の成長にとっても感動したのをこの間のように感じます。

先日(5月)妻よりLINEで長女が卒業式で着る袴

を決めたと連絡がありました。長女はこの4月に小学6年生になったばかりですので、「準備早すぎるやろ!」と返信しましたが、この時期から決めて予約しておかないと選択肢がなくなるようです。来年の3月に卒業を迎えますが、残りの小学校生活でも素晴らしい思い出を作り、さらに成長した娘の袴姿を卒業式で見るのが待ち遠しです。次女も絶賛成長中です。



(広報部会 堂前 篤史)